

## 酪農振興を推進 美作集約酪農地域追加申請

美作の1市15ヵ町村は美作集約酪農地域として昨年12月10日農林省から指定をうけ、同地域の酪農振興はすでに推進されており、35年度までにホルスタイン種6,000頭、ジャージー種2,000頭の飼育を図ることにしていたが、新たに追加指定申請をし、3月23日備中西部地域と同様、農林省で説明したが、その計画概要はおよそ次のとおりである。

新たに追加申請した町村は真庭郡落合町、苫田郡鏡野町、同加茂町、勝田郡奈義町、同勝田町、英田郡美

作町、同作東町、久米郡旭町、同柵原町の9町（うち4町はすでに一部の指定を受けている）で、この追加計画で同地域のホルスタイン種の飼育計画を35年度までに8,000頭に変更、ジャージー種を含めて合計1万頭を確保することになった。

35年度の牛乳生産はホルスタイン種5万9,968石（日量164石）、ジャージー種1万1,050石（日量30石）、合計7万1,018石（日量194石）で、飼育農家は6,300戸にのぼる計画である。

## 備中西部地域 振興計画

31年度指定を目ざして3月23日農林省で説明した備中西部地域集約酪農振興計画の概要はおよそ次のとおりである。

高梁川以西のホルスタイン種乳牛の集約酪農地帯として農家経済の安定を図るため、とくに次の5市15ヵ町村を区域とする果樹園、桑園経営と酪農を結びつけ、これらの間作及び高度集約牧野の造成により飼料の自給度を高める。

笠岡市、井原市、玉島市、総社市、高梁市  
川上郡成羽町、同川上町  
後月郡芳井町

小田郡美星町、矢掛町、小田町、北川村  
浅口郡里庄町、鴨方町、寄島町、金光町、船穂町  
吉備郡穂井田村、真備町、昭和町

現在この地方には農家3万9,687戸があり、1,870頭のホルスタイン種乳牛を飼い、年間1万5,100石の牛乳を生産（1日約41石）しているが、今後5ヵ年間に乳牛飼養農家を4,000戸にし、ホルスタイン種乳牛を6,000頭に増し、年間5万864石（日量140石）の牛乳を生産する計画である。

すでにこの地帯では笠岡市の明治乳業笠岡工場を

中心として笠岡市、井原市、川上郡成羽町などには酪農振興の機運があるが、同工場の1日の処理能力は練乳100石、バター50石で、計画完成後の原乳処理も心配ない。

この地帯ではすでに明治16、17年から乳牛が導入されており、県下でも一番古い酪農の歴史をもっており、酪農に対する経験を十分つんでおり、又果樹、桑園の樹園地1,915町歩があり、この間作利用で飼料の自給度をたかめることができる。